

大会長：高橋 良輔 京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 副大会長：山田 正仁 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳老化・神経病態学(脳神経内科学)  
2021年5月19日(水) ▶ 22日(土) 会場：国立京都国際会館

日本神経学会  
会員各位

謹啓 時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、京都でハイブリッド形式で開催しました神経学会学術大会にご参加いただき、誠に有難うございました。緊急事態宣言下でしかも大会2日目の夜には大雨に見舞われながらも、お蔭さまで現地参加は1,369名、WEB視聴者を含めると7,200名と、多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。本学術大会を大会長、副大会長として担当させていただきましては大変光栄なことであり、これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今年には新型コロナ変異株まん延による感染拡大という新局面を迎え、一ヵ月先の情勢をも見通せない中での開催となりました。3月末から何度も学会幹部による開催方式の検討を重ね、現地開催が可能かどうかについては会場である国立京都国際会館、京都府とも緊密な情報交換を行いました。その結果、万全の感染防止対策を施したうえで現地開催とWEB配信を併用するハイブリッド方式で開催することを5月初旬に最終的に決定しました。会員の皆様には直前までご心配をおかけしまして申し訳ございませんでしたが、何とか計画通りハイブリッド方式での開催を実行することができました。ご尽力いただきました関係各位に重ねて厚く御礼を申し上げます。

本学術大会の運営にあたっては、学会事務局と運営事務局の双方の御協力のもとで、作業を進めることができました。

また、プログラム編成にあたっては、学術委員や教育プログラム小委員、および関連の皆様に多大な御支援を頂きました。日本神経学会では学術大会国際化の大方針を掲げていますが、今回の企画プログラムのうち、シンポジウム等の学術プログラムについては約4割が英語プログラムとなり、一般演題では、口演の約4割、ポスターの約半分以上が英語となって、更に国際化をすすめることができました。

このように皆様からたくさんの御協力と御支援を頂き、学術大会を開催・運営することができました。ここに改めて感謝申し上げます。

以上、簡単ではございますが御礼のご挨拶とさせていただきます。

皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2021年5月吉日

第62回日本神経学会学術大会

大会長 高橋 良輔

京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 教授

副大会長 山田 正仁

九段坂病院 副院長

金沢大学大学院脳老化・神経病態学(脳神経内科学) 名誉教授

【大会長校事務局】京都大学大学院医学研究科臨床神経学

(脳神経内科)

【学会事務局】日本神経学会事務局

【運営事務局】第62回日本神経学会学術大会運営事務局

日本旅行コンベンショングループ

大会長校事務局 京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町54

学会事務局 一般社団法人日本神経学会 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階 TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

運営事務局 株式会社日本旅行コンベンショングループ

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階 TEL: 086-259-5578 FAX: 086-250-7682 E-mail: neuro2021@wjcs.jp

